

平成27年度 関東フロッククラブネットワークアクション2015

開催報告

日時： [第1日目] 平成27年11月28日（土） 13:00～17:00

[第2日目] 平成27年11月29日（日） 9:25～13:00

会場：千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター

内容：

[1日目]

- ①開会前歓迎アトラクション「キッズダンス」
- ②開会行事
- ③講演「総合型地域スポーツクラブの可能性」
- ④グループワーク「クラブの経営を考える」
- ⑤日本体育協会からの情報提供

[2日目]

- ①事例発表
- ②グループワーク「クラブの経営を考える」
- ③まとめ・閉会行事

【概要】

7月19日に実行委員会を行い、メインテーマを「自主自立のための意識改革」としました。1日目の講演及び2日目の事例発表により、参加者へ複数の視点から情報提供を行いました。両日ともに行ったグループワークは、今回のサブテーマである「クラブの経営を考える」時間とし、各クラブの抱える現状・課題を持ち寄り、解決するヒントを得ることで、軌道修正のきっかけとなることを期待し実施しました。また、2日間、同じメンバーでグループワークを行うことで、参加者の交流が深まり、地域を越えた関係を構築することも意図しました。

2日間という限られた時間でしたが、グループワークで活発な意見交換が行われるなど、参加者にとって有意義なものとなったと思います。

[1 日目]

【開会前歓迎アトラクションについて】

開会前に参加者への歓迎の気持ちを込めて、NPO 法人幕張西スポーツクラブの子どもたち 40 名がキッズダンスを披露しました。



【開会行事について】

千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 田淵章治会長が開会宣言をし、主催者あいさつとして関東ブロッククラブネットワークアクション 2016 桑田健秀実行委員長、開催県あいさつとして千葉県教育庁教育振興部体育課 川崎浩祐副課長があいさつを行いました。その後、主催者等紹介と資料確認、プログラムの趣旨説明を行い、開会行事は終了しました。

【講演について】

千葉大学教育学部 谷藤千香准教授から「総合型地域スポーツクラブの可能性」をテーマに講演していただきました。「スポーツ振興基本計画」制定から現在に至る中で、総合型地域スポーツクラブの地域における重要性が増しているという説明がありました。また、多くのクラブが抱える会員確保、財源確保、指導者確保等の課題について、長期的視点に立って取り組んでいくことが大切と述べ、さらには、各クラブの会員それぞれが主体性を持つことが必要であると述べられました。特にご自身の体験から得られた事業発展のための視点は、クラブ運営における貴重な情報となりました。



【グループワークについて】

「クラブの経営を考える」をテーマにグループワークを行いました。話し合いに適切な人数を検討した結果、各班 8～9 名（司会者を除く）の構成で、10 班に分け 4 会場で行いました。冒頭で自己紹介した後、テーマのもと各クラブの状況・課題等を出し合うなどして意見交換をしました。



[2 日目]

【事例発表について】

事例①「千葉県連絡協議会の取組み」千葉県連絡協議会田淵章治会長

千葉県内総合型クラブの育成状況や連絡協議会の設立経緯について説明があり、総会やクラブ交流大会など、具体的な連絡協議会の取組み事例が紹介されました。また、併せて千葉テレビで放映された映像や県民だよりなどを参加者に紹介し、これまでの成果と今後の課題について説明がありました。

事例②「袖ヶ浦市連絡協議会の取組み」中富ふれすぽ小野和夫会長

袖ヶ浦市は市内の5地区でそれぞれクラブが設立されており、袖ヶ浦市連絡協議会としてクラブ間の連携を図ることで、市民にクラブの存在を広くアピールしています。袖ヶ浦市連絡協議会が主催したイベント等について紹介され、現在の課題や今後の展望などについても説明がありました。

事例③「県内クラブの取組み」NPO 法人おおたかスポーツコミュニティ流山小林千穂クラブマネジャー

実施されている4事業について紹介がありました。定期スポーツ教室の開催（生涯スポーツ運動習慣の普及）、ヘルスアップ教室の運営（市民の健康増進：市からの委託）、トップスポーツプロジェクト（高技術なスポーツ指導の提供）、スポーツイベントの開催・運営協力などの4事業を展開しており、具体的な事業運営に関する説明では、各クラブにも活用できる内容が多くありました。

事例④「おおたスポーツ健康フェスタについて」

NPO 法人ピポットフット桑田健秀理事長、おおたスポーツネット

7月5日に開催されたおおたスポーツ健康フェスタについて、当日の映像も交え、事業内容の紹介がありました。プロスポーツ選手やお笑い芸人が登場するイベントとして開催され、主催のおおたスポーツネットを含む大田スポーツ振興総合プロジェクト（地域スポーツを軸とした街づくり）や、地域スポーツのソフトインフラ再構築のポイントなどについても説明がありました。

【グループワークについて】

1日目と同じグループで、同テーマ「クラブの経営を考える」について情報交換を行いました。1日目の内容に加え、事例発表を踏まえて考えたことを議論し、グループごとに発表内容をまとめました。それぞれのクラブで活動の形態や地域の状況が全く異なり、他都県クラブの現状について改めて認識するとともに、その中でできることや課題の解決策について、情報を共有しました。



【まとめ・閉会行事について】

2日間のグループワークについて、各グループ代表者がそれぞれ話し合った内容を発表しました。全体のまとめを桑田実行委員長が行い、今回の内容が各クラブの財産になれば嬉しいと締めくくりました。

閉会行事では、次年度開催県の埼玉県から一般社団法人彩の国SCネット

ワーク栗田勇夫副代表理事があいさつされ、2日間のプログラムが終了しました。



【まとめ】

今回、メインテーマを「自主自立のための意識改革」として開催しました。意見交換も活発に行われ、各参加者が他の参加者（クラブ）から多様な情報を得られたこと、共感を得られたこと、そして、参加者自身がそれぞれのクラブの現状・課題を再認識する機会が得られたこと、また、財源確保に向け前向きな意見交換ができたことから、開催した成果があったと思います。